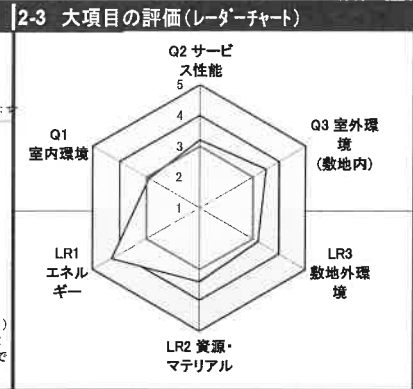
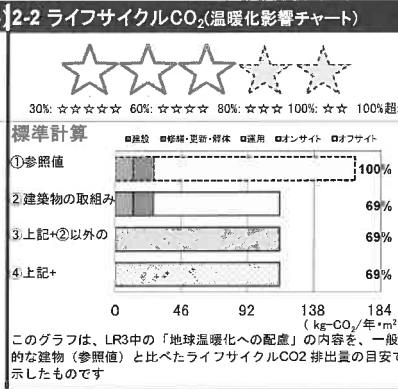
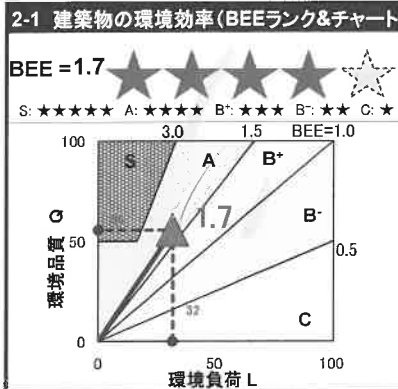


# CASBEE-建築(新築)

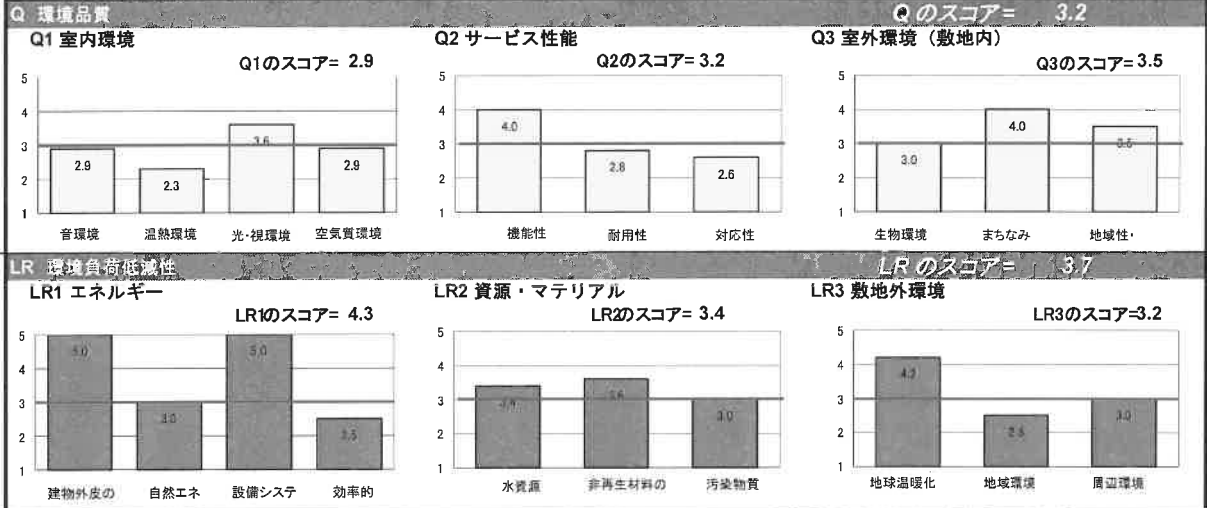
## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)NTB京都京丹波 新築工事		階数	地上3F
建設地	京都府京丹波郡 丹波町 丹波新田1-1-1(第1種)・丹波新田1-1-2(第2種)・丹波新田1-1-3(第3種)・丹波新田1-1-4(第4種)・丹波新田1-1-5(第5種)・丹波新田1-1-6(第6種)・丹波新田1-1-7(第7種)・丹波新田1-1-8(第8種)・丹波新田1-1-9(第9種)・丹波新田1-1-10(第10種)・丹波新田1-1-11(第11種)・丹波新田1-1-12(第12種)・丹波新田1-1-13(第13種)・丹波新田1-1-14(第14種)・丹波新田1-1-15(第15種)・丹波新田1-1-16(第16種)・丹波新田1-1-17(第17種)・丹波新田1-1-18(第18種)・丹波新田1-1-19(第19種)・丹波新田1-1-20(第20種)・丹波新田1-1-21(第21種)・丹波新田1-1-22(第22種)・丹波新田1-1-23(第23種)・丹波新田1-1-24(第24種)・丹波新田1-1-25(第25種)・丹波新田1-1-26(第26種)・丹波新田1-1-27(第27種)・丹波新田1-1-28(第28種)・丹波新田1-1-29(第29種)・丹波新田1-1-30(第30種)・丹波新田1-1-31(第31種)・丹波新田1-1-32(第32種)・丹波新田1-1-33(第33種)・丹波新田1-1-34(第34種)・丹波新田1-1-35(第35種)・丹波新田1-1-36(第36種)・丹波新田1-1-37(第37種)・丹波新田1-1-38(第38種)・丹波新田1-1-39(第39種)・丹波新田1-1-40(第40種)・丹波新田1-1-41(第41種)・丹波新田1-1-42(第42種)・丹波新田1-1-43(第43種)・丹波新田1-1-44(第44種)・丹波新田1-1-45(第45種)・丹波新田1-1-46(第46種)・丹波新田1-1-47(第47種)・丹波新田1-1-48(第48種)・丹波新田1-1-49(第49種)・丹波新田1-1-50(第50種)・丹波新田1-1-51(第51種)・丹波新田1-1-52(第52種)・丹波新田1-1-53(第53種)・丹波新田1-1-54(第54種)・丹波新田1-1-55(第55種)・丹波新田1-1-56(第56種)・丹波新田1-1-57(第57種)・丹波新田1-1-58(第58種)・丹波新田1-1-59(第59種)・丹波新田1-1-60(第60種)・丹波新田1-1-61(第61種)・丹波新田1-1-62(第62種)・丹波新田1-1-63(第63種)・丹波新田1-1-64(第64種)・丹波新田1-1-65(第65種)・丹波新田1-1-66(第66種)・丹波新田1-1-67(第67種)・丹波新田1-1-68(第68種)・丹波新田1-1-69(第69種)・丹波新田1-1-70(第70種)・丹波新田1-1-71(第71種)・丹波新田1-1-72(第72種)・丹波新田1-1-73(第73種)・丹波新田1-1-74(第74種)・丹波新田1-1-75(第75種)・丹波新田1-1-76(第76種)・丹波新田1-1-77(第77種)・丹波新田1-1-78(第78種)・丹波新田1-1-79(第79種)・丹波新田1-1-80(第80種)・丹波新田1-1-81(第81種)・丹波新田1-1-82(第82種)・丹波新田1-1-83(第83種)・丹波新田1-1-84(第84種)・丹波新田1-1-85(第85種)・丹波新田1-1-86(第86種)・丹波新田1-1-87(第87種)・丹波新田1-1-88(第88種)・丹波新田1-1-89(第89種)・丹波新田1-1-90(第90種)・丹波新田1-1-91(第91種)・丹波新田1-1-92(第92種)・丹波新田1-1-93(第93種)・丹波新田1-1-94(第94種)・丹波新田1-1-95(第95種)・丹波新田1-1-96(第96種)・丹波新田1-1-97(第97種)・丹波新田1-1-98(第98種)・丹波新田1-1-99(第99種)・丹波新田1-1-100(第100種)		構造	RC造
用途地域	指定なし		平均居住人員	- 人
地域区分	5地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月	予定	評価の実施日	2019年6月24日
敷地面積	2,266 m <sup>2</sup>		作成者	積水ハウス株式会社
建築面積	996 m <sup>2</sup>		確認日	2019年6月24日
延床面積	2,744 m <sup>2</sup>		確認者	積水ハウス株式会社



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・リサイクル材、節水器具を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・客室は、細かな点滅区分計画により、照明の制御性に配慮している。 ・客室内の空気質を良好に保つため、十分な換気量確保した計画をしている。	・ゆとりある天井高を確保することにより、居住者の快適性に配慮している。 ・耐用年数の長い配管材を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・外構を積極的に緑化することにより、良好な景観形成、生物環境の創出を図っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。	・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材の使用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・深夜の滅灯等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される